

# 区社協事業のご案内

## 令和3年度 第2回 栄区フードパントリー

栄区では、ご家庭で使いきれない食材の寄付を募る「フードドライブ」を実施中。「フードパントリー」では寄付いただいた物品をお渡しいたします！  
**新型コロナウイルス感染症の影響を受けてお困りの方、子育て中の方、学生さんなど、どなたでもお気軽にご参加ください。**

日時：令和4年2月19日(土)  
 10時30分～12時  
 場所：ピアハッピー栄(栄区社会福祉協議会)  
 共催：栄区内7地区社会福祉協議会



お気軽にお越しください!

栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29  
**問合せ 申込先** TEL:045(894)8521  
 FAX:045(892)8974

## 第23回 ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるイベントです！  
 栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障害者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。

日時：令和4年3月5日(土)  
 10時～12時30分  
 場所：ピアハッピー栄(栄区社会福祉協議会)  
 内容：バザー  
 出張体操教室  
 ボッチャ体験  
 手話教室 など

子ども向けのイベントもあるよ～!

主催：ようこそ・であい広場 実行委員会



※今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

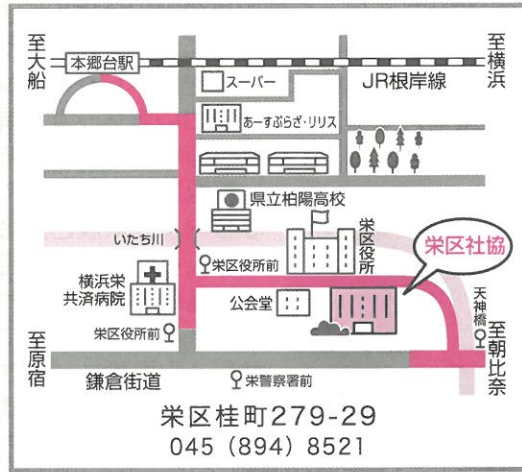
区社協ホームページでも事業紹介をしています。



本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力でご世帯にお配りしています。

- 【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
- 豊田(堀田 賢二) 笠間(田中 貞代)
  - 小菅ヶ谷(野村 伸子) 本郷中央(長沼 勲)
  - 本郷第三(寺本久美子) 上郷西(渡邊 晶)
  - 上郷東(湖上 忍) あさの会(浅坂 隆雄)
  - どんぐり(渡邊 晶) 栄ら・むい(石田 義則)

【編集後記】  
 毎日寒い日が続いていますが、寒くても積極的に外に出て活動してみよう。  
 私の所属するあさの会もコロナ禍でウォーキングの行事が無くなりました。そこで習慣化したのが散歩です。マスク越しの顔見知りも増え、また足腰が鍛えられ健康から精神的にも良い効果を生んでいるようです。  
 コロナでストレスもたまりがちですが、手洗いの励行・マスクの着用・部屋の換気等の基本を守り、もうすこし頑張りましょう。明けの夜はあきらめず頑張りましょう。明けの夜はあきらめず頑張りましょう。(浅坂)



# さかえ区社協だより

## No.55

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会  
 〒247-0005 横浜市栄区桂町 279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内  
 電話 045(894)8521 Fax 045(892)8974  
 E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp

令和4年2月1日発行  
 承認：栄区連第91号

## 第4期 栄区地域福祉保健計画

# さかえ・つながるプラン

計画期間：令和3年度～7年度

「さかえ・つながるプラン」とは誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域社会の実現を目指し、地域住民、関係団体、事業者、公的機関等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域に支えあいの仕組みづくりを進める計画です。

### 基本理念

## みんなが支えあい安全・安心を感じるまち さかえ

目指すまちの姿(目標)

<p><b>1</b> 誰もが身近な地域でいきいき暮らせるまちに</p> <p><b>取組の視点</b></p> <p>1-1 社会とつながりいきいきと暮らす</p> <p>1-2 健やかに暮らす</p> <p>1-3 地域で自分らしく暮らす</p>	<p><b>2</b> お互いさまで支えあうまちに</p> <p><b>取組の視点</b></p> <p>2-1 見守り、支えあう</p> <p>2-2 地域の安全・安心を支えあう</p>	<p><b>3</b> 様々なつながりがあり情報が行きとどくまちに</p> <p><b>取組の視点</b></p> <p>3-1 情報が届き、つながる</p> <p>3-2 様々な団体・主体がつながる</p>
---	--	--

これまで培ってきた福祉保健活動を土台に地域で行われている様々な活動を加え、栄区一体となって取り組んでいくという考えから、第4期は、第3期の基本理念「みんなが支えあい安全・安心を感じるまち さかえ」を継承し、より暮らしやすい地域を目指します。

区社協ホームページでも事業紹介をしています。詳しくはこちら ▶ 栄区社協 検索

視覚障害のある方にも広報誌の情報を提供できるように音声版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。





# タクシー会社との取り組み

～快適な移動と途切れることのない見守りのために～



## 安全・安心な移動と見守りについて タクシー会社との取り組みをご紹介します

### 見守りタクシー

～途切れることのない見守りのために～

高齢者の安全・安心のためにタクシー会社が日々の業務で地域の高齢者を見守りながら、必要に応じて専門機関へ連絡を行う取り組みです。

### 相乗りタクシーでGO!

～ドアtoドアで快適～

安全・安心に外出できるように、身近なお助けマンとしてタクシーを活用し、外出の機会を増やします。

例) Aさん宅→Bさん宅→Cさん宅  
→目的地



目的地

発見  
連絡

タクシー会社

協力タクシー会社

- ・カナガワ交通株式会社イースタン
- ・株式会社ケイサntaxi 栄営業所

対応

栄区版  
タクシーがつづく人と地域！  
24時間365日  
見守り体制

### ドライバーさん 気づきポイント

地域住民の暮らしを守るためのチェックポイント

- ① お迎えに行っても不在がち
- ② 季節感のない服装・履物
- ③ 気になるにおい(口臭など)
- ④ 今いる場所がわからない?
- ⑤ 具体的に行き先が言えない?
- ⑥ 会話・雑談がかみ合わない(もどはでする)
- ⑦ 小銭が沢山あるのに出せない?
- ⑧ お金を持っていないようだ

上記は一例です。

少しでも気になったら  
配車センターへ連絡をお願いします

栄区社会福祉協議会 栄区地域ケアプラザ 栄区高齢・障害支援課

区内7地域ケアプラザ  
包括支援センター

詳しくは  
栄区社会福祉協議会へ

連絡

協定書を締結  
令和3年12月

栄区役所・栄区社会福祉協議会(区内7地域ケアプラザを代表して)  
タクシー会社による高齢者見守りに関する協定書を締結



# 令和3年度栄区福祉功労者表彰式を開催しました



令和3年11月26日(金) 令和3年度栄区福祉功労者表彰式(主催:栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)が栄区民文化センターリスホールで行われました。

今年度は、次の皆さまが表彰されました。(敬称略・順不同)

### 【ボランティア活動功労】

荒井 文夫	山崎 咲恵	いたちカフェ
多田 裕子	笠青睦會	カフェみどり
おしゃべりシフォンカフェ		
おたすけボラ・中野		
さかえ・グリーン協力隊		
サロン・むーみんスマイル		
スリーA・スマイルの会		

### 【金品寄託功労】

上山 由美子

### 【福祉団体自主活動功労】

北川 澄子	佐野 勝彦	中村 齊	原 恒雄
紀平 恵子	高橋 勝美	中村 磨美	本田 寛
佐藤 義雄	戸間 弘志	村田 保太郎	



昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年実施している社会福祉大会を中止したため、表彰式典も行われませんでした。

今年度は感染予防対策をしながら、表彰式のみを行う形で開催しました。長年、ボランティア活動やご寄付いただいている皆さまに感謝の意を

表すとともに、活動を広く知っていただく機会になったかと思えます。

また、表彰された方のうち、中村磨美さんと「おしゃべりシフォンカフェ」さんに活動を続けている思いなどをインタビューしました。ボランティア情報紙「そら」第117号にインタビューの様子を掲載しましたので、ご覧ください。



会員団体  
活動  
訪問記

## 特別養護老人ホーム「ライフコートさかえ」

特別養護老人ホーム「ライフコートさかえ」は、栄区と古都鎌倉が隣接する荒井沢市民の森の入口にあります。自動車の通る騒音も聞こえない、豊富な緑に囲まれ、春にはウグイスの声を聴き、夏にはホタルが舞う豊かな自然環境の中にあります。面会に訪れる利用者の家族からも、その環境の良さに驚きの声上がるそうです。



平成18年に開設された同施設は鉄筋コンクリート3階建て、全室個室で120名の方が利用でき、通路も広々とし、天井の高いゆったりとした空間になっています。ご利用者は、要介護認定3以上の方です。

現在、栄区内には特別養護老人ホームは大小合わせて5か所あり、ご利用者数では「ライフコートさかえ」は中規模程度の施設です。

団塊の世代が高齢化を迎えて、栄区は市内でも高齢化率はトップクラスにもかかわらず、介護保険の申請率の低さもトップクラスで、要は元気な高齢者が多い地域です。これは様々な会合やイベントに積極的に参加される方が多く、活発に動き回り、人との関わりが多いからではないかと考えます。

お話しを伺った施設長の山田達也氏によると、同施設の方針としても、ご利用者の皆さんには身体を動かすこと、多くの会話を行うこと、コミュニケーションが十分に取れる事が大事と考えて、季節毎に納涼祭やクリスマス会等、様々な趣向を凝らしたイベントを企画し、スタッフの方と共に楽しんでいるとのこと。握り寿司バイキングやマグロの解体ショー等も行っているそうです。また、フロア毎のこじんまりとしたサークル活動として、折り紙やぬり絵、習字等を楽しんでいるそうです。

新型コロナウイルス禍で、ご家族の面会が難しい状況が続きましたが、施設の方針として、なるべくご家族と面会できる機会を増やしたいとの強い思いから、テレビ電話による面会を導入し、さらに3月からは、理事長自らが材料調達から塗装まで手作りした、空調設備を完備した面会コーナーを設け、ご利用頂いているとのこと。

収まりつつあるかに見えるコロナウイルス禍ですが、いつまた次の波が来るかわかりません。山田氏も「引き続き気を引き締めて、手洗い、うがい、換気、マスク着用等、感染防止に努めていきます」との事でした。私達も気を緩めることなく感染防止対策を行ってまいりましょう。



山田達也施設長

(石田、長沼)